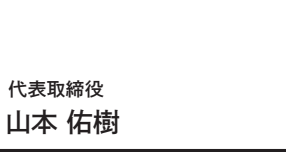


代表取締役 CEO
宮崎 和雄



代表取締役
山本 佑樹



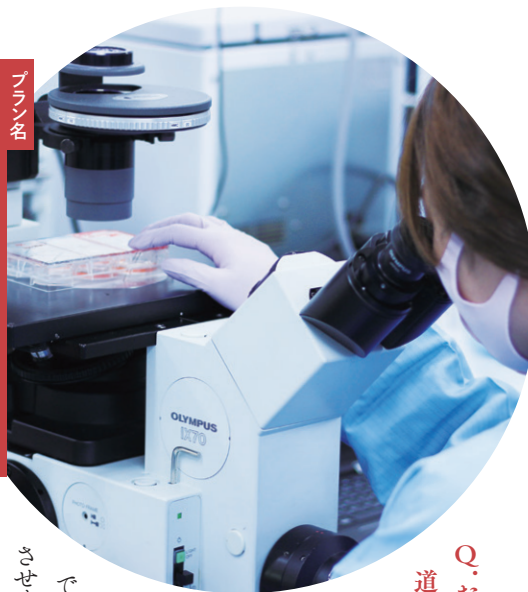
マイキャン・テクノロジーズ株式会社
京都市西京区御陵大原 京大桂ベンチャープラザ
TEL 075-381-3008
<https://www.micantechologies.com/>

HiLung株式会社
京都市左京区吉田下阿達町46-29
TEL 075-354-5095
<https://www.hilung.com/>

プロフィール

東京理科大学大学院卒。約20年製薬会社で再生医療技術等を活用した新薬の研究開発に携わる。インド出向時、多くの感染症が未解決課題であることを知り、帰国後、再生医療技術を用いた感染症の課題解決を志す。2016年マイキャン・テクノロジーズを設立し、大学発技術を基にした研究用血球細胞の開発に着手。ウイルス感染症の脅威に怯えず暮らせる社会の実現を目指す。

プリン名
新規感染症評価製品事業の展開



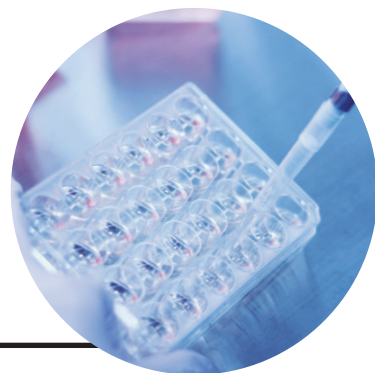
Q. 今回のコラボレーションにあたり、一番難しかったことは何ですか？
山本・宮崎 それぞれ独自の技術を活かした細胞を有しているのが強みですが、細胞を組み合わせることは繊細な

Q. お二人はどのように「細胞」を作る道に進まれたのですか
山本社長（以下、山本）もともと呼吸器内科医だった私は2009年の新型インフルエンザのパンデミックを目の当たりにし、呼吸器疾患の治療法開発にiPS細胞技術が役立つのではと考え、研究の道に進みました。肺細胞を作ることは非常に困難で、何年もの月日を経て生成を実現させました。

Q. 今後の展望についてお聞かせください。
山本・宮崎 我々のようなスタートアップ企業にとって、自社で複数の研究を進めるのは難しいことです。だからこそ、他社の技術とコラボレーションすることが重要になります。2社の知恵が組み合わさった、京都発の新技术。新型コロナをはじめさまざまな病の研究支援や診断、そしてより精度の高い治療へと、着実に未来を変えていくことが目標です。

第2回 コラボレーション部門 グランプリ 受賞

2社の技術「肺細胞×血球細胞」で医療・創薬を支える新技术を生み出す



ビジネスプランの詳細はこちら
<https://www.kyotojci.com/1737.html>



アジア最大級のパートナーングイベント「BioJapan2022」にご出展されました！

同イベントでのマッチングシステムを利用した商談を通じて、市場・潜在顧客のニーズ調査を実施したそうです。有効性の高い呼吸器感染症評価キットの広がり、今後の医療業界が発展していくことを期待しています。

京商からの支援